

I. 地域連携・研究推進事業 (令和4年1月～令和4年12月)

①道内4高専連携事業等

技術移転フォーラム2022工業試験場成果発表会【出展】(札幌市・6月13日)

北海道立総合研究機構 工業試験場・ものづくり支援センターが主催する発表会です。例年道内4高専の教員が開発した成果物やポスターなどを展示し、企業や研究機関、他大学・高専との研究交流の場となっています。

今年度はエネルギー分野と防災・減災分野について、苫小牧高専の教員が出展しました。

北洋銀行ものづくりテクノフェア2022(中止)

道内の企業、教育機関、研究機関等が一堂に会し、情報交換や技術交流を通じて、産学官連携の促進や北海道のものづくり産業の振興を図ることを目的として開催されており、その年に発表する研究分野を決めて例年出展しています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が終息していないことから中止となりました。

サイエンスパーク【出展】(札幌市・8月4日)

北海道が主催するサイエンスパーク「みんなで科学をたのしもう!子供のための科学の祭典」が開催されました。札幌エルプラザにおいて道内4高専として出展し、苫小牧高専と旭川高専の教員が科学実験講座を実施しました。

ビジネスEXPO【出展】(札幌市・11月10日～11日)

「イノベーション創造北海道 ～SDGs×デジタル新時代～」というテーマで北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会が主催となり、アクセスサッポロで開催された、道内の企業、研究機関、教育機関等の情報交換や技術交流の場として重要なイベントです。本イベントには道内4高専として出展しました。例年研究に関するポスター展示を行っており、今年度本校からは材料・加工分野の展示として、機械工学分野の高橋剛教授が「カラマツ間伐材を活用した圧縮木材の開発」というタイトルで出展・ブース対応しました。



道内4高専と道総研産業技術環境研究本部・北海道科学大学の研究交流会【発表】(オンライン・12月22日)

各機関の研究者による研究成果の発表・交流の場として開催されています。コロナ禍のため今年度も大事をとってオンライン開催となりました。本校からは制御・福祉機器分野の発表として、電気工学分野の佐々木敦教授が「視覚障害者の自立を支援するカラーリーディングシステムの開発」というタイトルで発表しました。

■北海道から表彰されました■

令和4年10月20日に北海道知事公館において、令和4年度包括連携協定企業等表彰・贈呈式が執り行われました。これは、北海道と包括連携協定を締結して5年が経過し、協働事業に顕著な功績のあった団体に知事から感謝状が贈呈されたものです。本校からは、佐川正人副校長(研究担当)が出席し、感謝状を受け取りました。本校を含む道内4高専は、北海道との包括連携協定に基づき、今後も相互に連携・協力をしながら協働事業に取り組みます。

